

2018年3月の
ファンダメンタルの要点

2018年3月のファンダメンタル

①日銀の超長期債券の購入額の減額

日本銀行は、日本の超長期債券を購入し続けていますが、債券を購入するのは、資産を購入していることになり、これは金融緩和の一環として捉えます。

2月末日に、その金額が減らされました。金融緩和の縮小です。日銀はずっと大規模な金融緩和を続けてきました。これによって円は売られる傾向にありましたが、金融緩和が縮小されれば、円は買われます。

2018年3月のファンダメンタル

②イギリスのEU離脱の雲行きが悪さ

1月は欧州の2国がソフトブレグジットに協力すると言って、ポンドが買われたんですね。

ところが、EUとイギリスの離脱協定草案が受け入れられず、EU離脱の交渉は難航する可能性があると報じられました。

EU離脱は事務手続きが大詰めの時期を迎えています。

ですので、決裂すれば、ハードブレグジットに繋がりますので、ポンドはネガティブになり、売られました。

この報道は、決裂か、合意かの報道で、

今後もポンドが大きく動くと予想できます。

2018年3月のファンダメンタル

③ トランプ大統領の鉄鋼とアルミニウムに対する輸入制限

3月1日深夜2時37分、トランプ米大統領が、鉄鋼とアルミニウムに対する輸入制限を発動させる方針を発表し、保護貿易への懸念が高まり、米株が大幅続落し、投資家のセンチメントが悪化しました。

また、トランプ米大統領の同方針を受けて、パウエルFRB議長の下院での議会証言後に高まっていた「FRBによる今年4回の利上げ」思惑も後退したようです。

このことで、ドル円は106.16円まで下落しました。

2018年3月のファンダメンタル

④メイ首相、EU離脱について英国とEUは合意に近づいている

3月5日、イギリスのEU離脱に関して、メイ首相が「メイ首相、EU離脱について英国とEUは合意に近づいている。」と、ポジティブな発言がありました。

EU離脱には、北アイルランド問題と、移民問題、イギリスが単一市場（EU）にとどまる特別対応のペナルティの支払いなどがあります。状況がいつ悪くなるかわかりませんので、これでソフトブレグジットだと安心するのは、まだ早いのではないかと思います。

2018年3月のファンダメンタル

北アイルランド問題、単一市場などニュースでも今後報じられますので、以下を覚えるようにして下さい。英国のEU離脱協議に難題は山積みなのが現状です。

EU側は昨年12月に先送りを認めた北アイルランドの国境管理の解決策を、英国側に要求。合意がずれ込めば、今年秋冬の事実上の協議期限までの、貿易関係協議の実現が危ぶまれています。

加えて、野党・労働党がEU離脱後の英国が単一市場（EU連合）に留まる方針を表明。保守党議員の一部がこれに同調する動きがあり、単一市場（EU連合）に留まる修正法案が議会で可決する可能性が出てきています。その場合、保守党内の強硬離脱派が党首選の引き金を引くことも予想され、メイ首相の立場が危ぶまれ、政局流動化のリスクが高まっています。

2018年3月のファンダメンタル

⑤北朝鮮ミサイル問題のリスク後退

3月6日20時12分に、韓国安保当局者の発表で、
「北朝鮮は、非核化について米国と協議する意向を表明」
「南北首脳会談を4月後半に開催することで合意」
「北朝鮮は協議が続く限りミサイル、核実験は実施しないと表明」
との発表を受けて全体的にリスクが後退し、円売りとなりました。

2018年3月のファンダメンタル



(20 : 25-21 : 30) ユーロ円、26 pips獲得したトレードです。

2018年3月のファンダメンタル

⑥コーン米国家経済会議委員長（NEC）が辞任

3月7日早朝7時33分に、コーン米国家経済会議委員長（NEC）が辞任したとの報道を受けて、全体的にリスク回避の円買いとなりました。

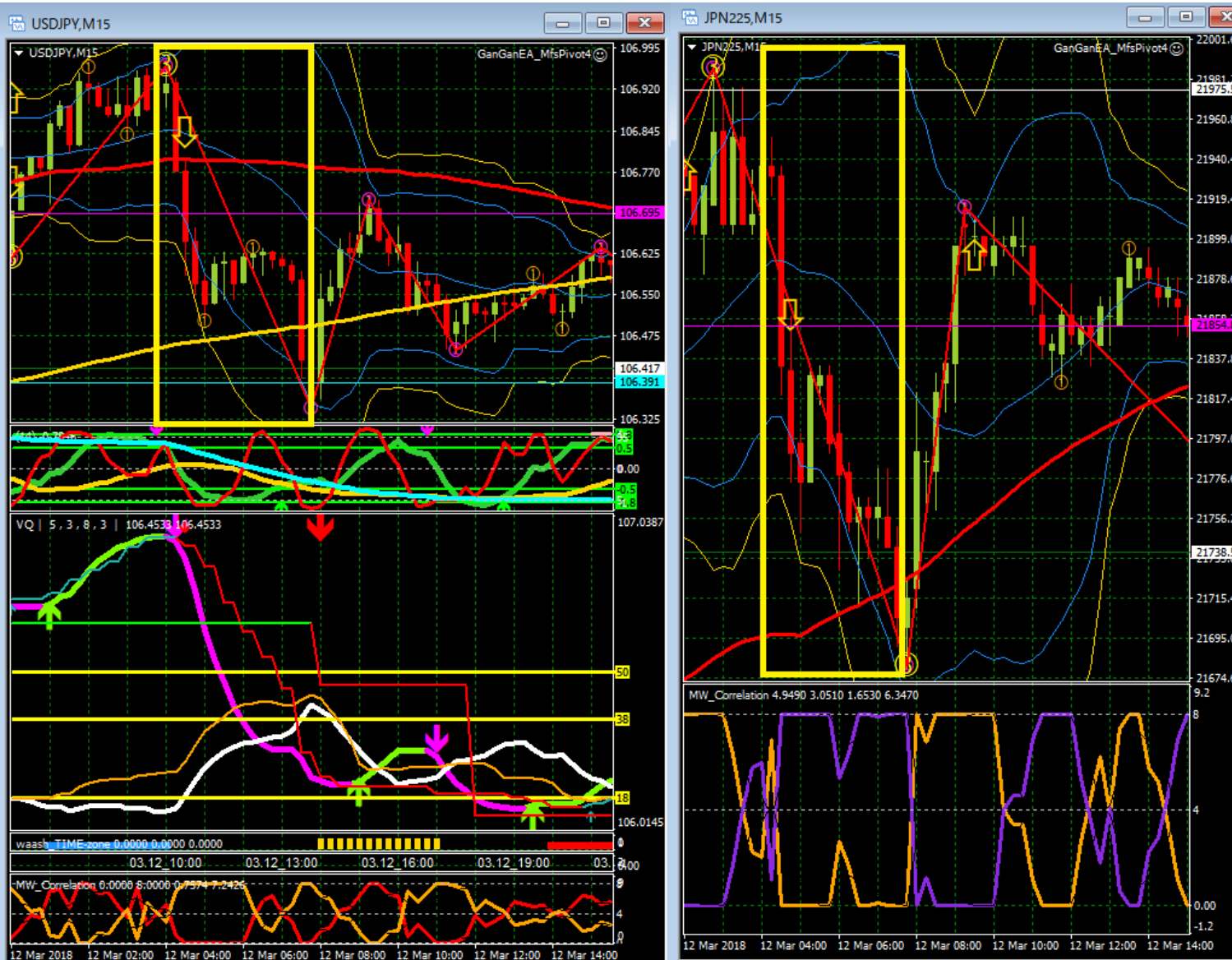
2018年3月のファンダメンタル

⑥森友問題と麻生財務相の進退で東京市場は乱高下

12日早朝、財務省による森友決済文書の書き換えを認める方針を受けて、麻生副総理兼財務相の進退に及ぶ可能性が取り沙汰され、ドル円が売られました。

この後、2時5分から麻生財務相の記者会見では、大臣を辞任しないという発言を受けて、ドル円は買い戻されました。

2018年3月のファンダメンタル



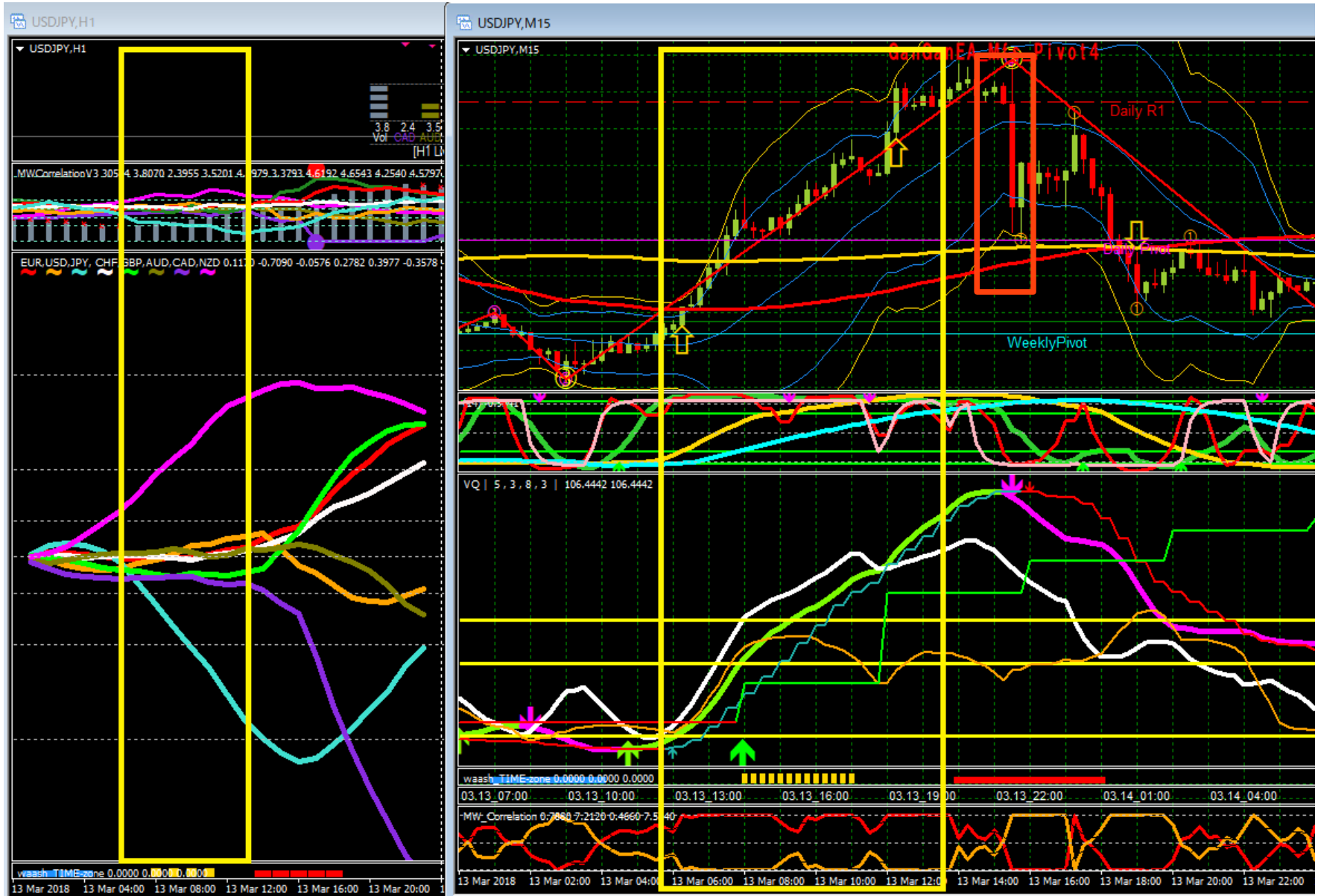
3月12日
黄色い枠は、
森友問題で麻生
財務相が大臣を
辞任する可能性
でドル円売りとな
った動きです。
辞任しないと発言
後に反転しています。

2018年3月のファンダメンタル

⑦麻生財務相の動向が相場を動かす

3月13日、森友問題で早朝からゆっくりとドル円が下がっていましたが、浅川財務官が「麻生財務相には国会の状況が許せばG20に参加してもらおう意向」と述べたことで、日経平均株価などが上昇し、欧州時間に一時107.20円を超えました。

2018年3月のファンダメンタル



2018年3月のファンダメンタル

⑦トランプ大統領、ティラーソン国務長官を解任

3月13日21時42分、米ワシントンポスト紙がトランプ大統領が、ティラーソン国務長官を解任と報じて、リスク回避の円買いに一時106.75円へと急落しました。このトランプ大統領の側近の解任や辞任は、後任者の発表と同時に下落の動きが止まりますので、注意されて下さい。

これは、麻生財務相の進退が注目されていてドル円が下がり、大臣を辞めないと言明してドル円が買い戻される動きと一緒に覚えておくようにして下さい。

2018年3月のファンダメンタル

【3月の注意点】

予想外の動きが最近多いですね。それらは殆どが、ニュースで報じられたファンダメンタルの内容です。

3月はまだレパトリがあります。企業が保有している海外の通貨を売って、円に換えて日本に戻しますので、円買いになりやすいです。

指標発表後の動きの簡単なまとめ

- 発表と同時に大きく反応するもの → FOMC、政策金利発表、雇用統計、失業率
- 発表後に結果にゆっくり反応する → 消費者物価指数、GDP、労働賃金、個人支出
- 発表後に結果に反応が無い → 重要指標発表でないもの